

発行日 平成30年12月31日
 発行 一般社団法人 新潟県歯科衛生士会
 〒950-2086
 新潟市西区真砂3-16-10
 明倫短期大学内
 一般社団法人新潟県歯科衛生士会事務局
 ☎025(232)6351

すなやま

平成30年度 新潟県歯科医学大会 新潟県歯科衛生士会第2回研修会 報告



日時 平成30年11月11日(日)
 10時～12時
会場 朱鷺メッセ 2F 中会議室 201A
内容 医科歯科連携における周術期口腔機能管理の必要性と展望
 ～癌と闘う・今を生きる・想いを託す・この出会いがあなたを変える～
講師 がん感染症センター都立駒込病院 看護部 歯科口腔外科
 主任歯科衛生士 池上 由美子先生
 今回の歯科衛生士会研修会は新潟県歯科医学大会ということもあり、会場の朱鷺メッセ中会議室は講師の池上先生の貴重な講演に熱心に聞き入る歯科衛生士であふれていました。
 日本は現在、超高齢化社会に向かって進んでおり、直面する課題は多種多様です。その中で歯科の課題も多くあり、これまでのような診療室だけの対応にとどまることなく、在宅、訪問歯科の充実もその一つとなっています。
 池上先生のご講演は医科歯科連



講師の池上由美子先生

携における周術期口腔機能管理の必要性と展望ということで、がん感染症センター都立駒込病院でのがん治療の実際や、歯科医院との連携、病院の設備、環境など詳しく、分かり易くご紹介いただきました。
 がんの罹患患者数は年々増加しています。病气と闘う患者さん一人一人に寄り添い、歯科衛生士として口腔ケアを行いながら、その方の生きる姿勢やそこにある想いをくみ取り、託すこと、を実際の患者さんとの関わりをもとにご講演頂きました。
 QOLの向上だけでなく、歯科衛生士という立場でその人ごとに異なるQOD(クオリティ・オブ・ダイ)に向き合う姿勢に大変感銘を受けました。
 県内でも医科歯科連携への取り組みは徐々に進んでいます。まだまだこれからというのが現状です。歯科衛生士という専門職としての知識や経験と合わせて、人間性も問われる現場での自分自身の在り方を考え直す機会となる講演でした。
 (学術委員 橋詰 美貴)

平成30年度 全国病院歯科衛生士 連絡協議会に参加して

(1) 主催団体名 日本歯科衛生士会
(2) 日時 平成30年9月15日
(3) 会場 福岡国際会議場
(4) 内容
 ①講演「歯科保健医療の動向」平成30年度の診療報酬改定について」
 講師 厚生労働省保険局 歯科医療管理官 小椋正之先生
 ②ワークショップ「周術期等口腔機能管理の地域連携を目標として」
 報告「急性期病院における地域連携」
 都立駒込病院 池上由美子歯科衛生士 (病院委員会)
 報告「回復期病院における地域連携」
 熊本機能病院 古川由美子歯科衛生士 (病院委員会)
 報告「診療所における地域連携」
 茂内歯科医院 武藤智美歯科衛生士 (診療所委員会)
(5) 感想
 今年度の診療報酬改定では歯科保健医療をとりまく環境を考慮し、さらに将来の歯科医療の需要をイメージして行われた。2025年問題への対応に向けて効率的な医療体制整備と口腔機能低下対策や生活の質に配慮した歯科医療の推進など新しいニーズに

も対応できる質の高い医療の実現を目指していることが伺えた。周術期口腔機能管理については、対象患者と対象時期が明確化されさらにはがん関連では手術以外の治療においても対象となるなど歯科衛生士も業務上知っておかなければならない事項であると感じた。今改定では将来を見据えた上での改定がされているが、これを大きなチャンスとして捉え歯科への評価を確立し継続させる努力が必要と思う。ワークショップでとりあげた歯科衛生士連絡書は日衛のホームページからダウンロードでき、使用者が必要に応じてフォーマットをカスタマイズできるものである。
 まだ歯科衛生士のなかでも連絡書自体の認知度が低く今後への期待が高まるころではあるが、今回のワークショップをはじめ今後もブラッシュアップを重ねてより使いやすいツールとして共通認識できるようにすることが望ましいと感じた。より広い周知のためにも会員数の増加と組織力強化に向けて尽力する所存である。
 (理事 池田 裕子)

永年精励賞

長年にわたり新潟県歯科衛生士会の役員としてご尽力され、今般役員を退任されました下記の皆様が永年精励賞を受賞されました。ご功績を称えらるとともに一層のご活躍をお祈りいたします。(敬称略)



長岡ブロック
田辺千佳子さん
(元新潟県歯科衛生士会監事)



新潟ブロック
本間 和代さん
(元新潟県歯科衛生士会監事)



新潟ブロック
桐生香保子さん
(元新潟県歯科衛生士会理事、新潟県歯科衛生士連盟会長)



上越ブロック
山口 敦子さん
(元新潟県歯科衛生士会副会長)

「佐渡ブロック」平成30年度オリエンテーション・第1回研修会を開催 「佐渡の子どもたちをむし歯ゼロに」私たちができること



できました。お子様の家族に視覚で伝え、むし歯予防の大切さとご家族の協力が不可欠だということと同じ目線でどのように伝えていくかのヒントをたくさんいただきました。壮大なテーマではありませんが決して届かない目標ではないという山田先生の言葉に大変感銘を受けました。

また、後半は幼児の健康調査アンケート事例を基に、個別保健指導のポイントを押さえながらグループディスカッションしました。アンケートから患者様の背景を読み取って問題点を理解し各々の指導を意見交換したり、直接山田先生にアドバイスを頂いたり、これからの保健指導のスキルアップにつながる引き出しを増やすことができました。

佐渡の子どもたちの明るい未来のために歯科衛生士として患者様やそのご家族に優しく寄り添い貢献したいと強く感じました。
(佐渡ブロック 北見 麻衣)

平成30年10月28日(日) 13時～佐渡市金井コミュニティセンター大会議室において、佐渡ブロックオリエンテーションおよび第1回研修会を開催した。また、研修会の講師として(公財)新潟県歯科保健協会歯科衛生士・実践健康教育士山田智子先生をお迎えし、事例検討より個別保健指導のポイントについてご講演いただいた。
(衛生士動員人数) 9名
(感想)

日々の悩みや情報を共有しながら、日々の衛生士業務で実践しています。少人数だからこそ意見を出し合い相談し、より深く繋がるより良い関係を築いていることを実感しています。



「新潟ブロック」研修会

主催 新潟市在宅歯科医療連携室
日時 平成30年9月30日(日) 10時～12時
会場 新潟県歯科医師会3F 第一会議室
講師 新潟県歯科衛生士会 柏崎ブロック長 船岡陽子先生

研修内容
1 災害支援活動について
① 災害時の歯科衛生士の役割
② 中越沖地震時の歯科衛生士としての災害支援活動の実績について

2 避難所及び在宅避難者の口腔ケアとその後の在宅歯科医療の多職種連携による摂食嚥下、口腔ケアについて
3 今後の課題
島国日本では最近いたるところで想定外の様々な自然災害にみまわれていきます。今回の講師船岡先生は、過去中越地震と中越沖地震の2度の災害を経験され、ご自身も大変な中、歯科衛生士として何かやれることはないかと、避難所にて巡回口腔ケアに携わりご尽力されました。目的は、口腔衛生不

良による誤嚥性肺炎や、種々の感染予防・低栄養・生活不活発病の予防・福祉避難所の要援助者に対する口腔衛生指導です。支援の際には水や物品、場所の確保が困難な為、経験上、物品は歯科用品・水・家庭用品等々その場で即対応できる物を準備持参する。そして、支援の心構えとして最も大切なことは、被災者の立場になり、傾聴し押し付けることなく謙虚な気持ちで行う事を学ばれたそうです。口腔ケア支援は、そこに信頼関係が築ければ、その後の在宅に於いて、保健師・歯科医師・歯科衛生士等々、多職種連携し在宅歯科医療・口腔ケアを継続的に行い、対象者の体と心のQOLの向上につながる大きな役割だと思えます。ご講演は今後いつ直面するかもしれない災害に対し、支援の内容や物品、ネットワーク、心構えなどを再検討する上で大変参考になりました。今後の活動に生かしたいと思

います。
(新潟ブロック研修会担当 高橋 紀子)

「長岡ブロック」活動報告 第32回糖尿病を知るつどいに協力

主催 長岡市医師会
共催 長岡市・長岡地域振興局健康福祉環境部・長岡歯科医師会・長岡市薬剤師会・長岡市栄養士会長岡支部・新潟県臨床検査技師会中越支部・新潟県看護協会長岡支部・中央とうゆう・日赤千秋会・さわやかみどり

日時 平成30年7月21日(土)
会場 長岡リリックホール

長岡市の糖尿病専門オールスタッフが、一堂に会して各団体が多方面から糖尿病を考えるイベントが、今年も長岡リリックホールで開催されました。毎年、10月に行われたイベントでしたが、今年7月の開催となり、更に大変な猛暑とぶつかり来場者の人数が去年より少なめとなりました。



歯科指導のブースでは、1名の歯科医師と3名の歯科衛生士が、歯周病予防の重要性やブラッシング指導、様々な歯科相談に対応し、希望者には咀嚼力判定ガムの検査体験をして頂き、口が渴きやすい糖尿病の方には、「唾液が沢山出てきた」と好評でした。

「糖尿病を知るつどい」での歯科指導ブースに、来られた方は、30名と少ない人数でしたが、時間をかけ丁寧に対応できたように思います。こちらが言いたい事とは別に、口の中の悩みなどが、それぞれ個々に違い、押しつけては無く、相手のニーズに合わせた指導が出来て良かった事です。

生活習慣病の中でも、恐ろしい糖尿病ですが、なかなか口腔との関連性が理解されていないようです。次回は分かりやすく理解して頂けるように工夫したいと思

います。
(長岡ブロック 土田 新子)

「長岡ブロック」 「歯やが・よせつびまじり」2018に参加して

(日時) 平成30年9月29日(土)・30日(日) 10時～16時

(主催) 長岡すこやか・ともしび実行委員会

(会場) アオーレ長岡

(内容) ・クイズコーナー 758名

歯医者さん体験 137名

細菌検査 127名

口臭測定 190名

石膏模型作り 150名

ブラッシング指導 24名

咀嚼力・口腔機能測定 145名

(参加者2日間合計)

(衛生士動員人数)

歯科衛生士10名 学生ボランティア4名 (2日間合計)

(感想)

本年もアオーレ長岡で開催された「すこやか」とも並びました。2018年に歯科医師会・歯科技工士会と一緒に歯科衛生士会長岡ブロックも歯のブースに参加させていただきました。

この催しは長岡では毎年恒例となっている「みんなで福祉・健康を楽しく学ぼう」をかかげた市民参加型のイベントです。福祉や医療などの各団体が日常の健康作りに関与する情報提供をしたり、各種測定などのコーナーの他、最近では職業体験・料理体験や、コンサートにスポーツなど親子で楽しんで参加できる企画が増えており、当日も家族そろっての来場者が多くみられました。

今年のイベントの2日目は大型台風の影響が心配されていましたが、終わってみれば大盛況で、歯科のブースでは1番人気のクイズの他、歯科衛生士会コーナーでは健口くんによるパタカ測定や咀嚼

判定ガムを用いた口腔機能測定に参加された方が多くみられました。測定を通してお口の機能を維持する事の重要性を真剣に聞いていただき、「自分自身の生活を見直すきっかけができた」と喜んで帰られる高齢者の姿を見てとても嬉しく思いました。

このイベントに参加する毎に、お口の健康保持についての予防や情報発信の重要性を強く感じます。同時に自分が歯科関係者として

の役割を再認識するとても良い機会となっております。今後もより多くの市民の皆様に参加いただき、健康意識を高める一助を担えるよう更なる努力していきたいと感じる一日でした。

(長岡ブロック 池田 真理子)



「歯医者さん体験コーナー」子供達が楽しめました



「歯は大切です!!」

「柏崎ブロック」の活動報告

★柏崎元気館まつり2018

～働く自分に健康のごほうびを食・歯・運動で解決！糖尿病問題～

平成30年9月15日(土)

9時～16時

内容：咀嚼力判定ガム体験・アンケート実施・歯科相談

感想：参加された方は、お口の中の心配ごとを相談される方が多くいました。今後もお口の健康の大切さについて地域へ啓発していきたいです。

(柏崎ブロック会員 小山 由起子)



★かしわざきライフサポートフェス
～セッション～ジュースの秘密を知ろう！～

平成30年10月20日(土)

14時25分～15時20分

従事DH：5名

内容：RDテスト実施・ジュース内の糖質量を計量してみよう

感想：普段の飲み物の成分表示の糖質について家族で話し合うきっかけとなったと

思います。こうした活動を通して口の中に関心をもち、健康に気づくことの大切さを感じました。

★北条コミュニティセンターまつり

平成30年10月21日(日)

9時～12時

内容：RDテスト体験・アンケート実施者へ歯ブラシ配布

感想：RDテストから来場者の方との会話が広がり、地域での活動が各自の口腔内への関心を高め、動機付けに繋がる事を実感。医院勤務の私にとっても学ぶ事が沢山ありました。

(柏崎ブロック会員 力石 綾子)

★かしわざき秋の収穫祭

平成30年10月28日(日)

9時30分～15時30分

従事DH：6名

内容：アンケート実施者へ歯ブラシ配布

感想：今年度は、糖尿病について生活習慣をチェックするコーナーがあり、「ジュースは飲まない」「運動している方が多いと感じました。何気なく飲んでい

るジュース等の砂糖の量も目で見てわかるように展示し、驚かされている方も多かったです。子供から高齢者の方まで大勢の方にきて頂きました。

(柏崎ブロック会員 田村 治子)

★刈羽村健康展

平成30年11月3・4日(土・日)

9時～16時

従事DH：8名

内容：お口の中の細菌数・ごつくん(飲み込み)テスト・デ

ンタルフロス啓発

感想：お天気に恵まれ、大勢の方からご来場いただきました。細菌カウンタを使用してお話をさせていただきましたが、皆さん興味深く

なっていました。関心をお持ちになったのではないのでしょうか。

(柏崎ブロック会員 井比 美保子)

★柏崎フォーラム

～ワークシヨップ～かがやく笑顔はピカピカの歯から

平成30年11月18日(日)

10時～11時30分

従事DH：3名

内容：RDテスト体験・ジュース内の糖質量を計量してみよう・染め出し体験

感想：体験や実験で、お口の健康づくりのポイントを伝えることができ、参加された方々に喜んでいただきました。

(柏崎ブロック会員 関口 恵理子)



毎年、この秋の時期、各地域で様々なイベントが実施され、行政や地域振興局と連携して柏崎・刈羽地域で活動をさせていたいただいております。今年度もたくさんの方の活動をしていただきました。活動の報告、従事したDHからの感想を報告します。

柏崎地域では、歯科保健アンケートから「甘い飲み物をよく飲む人が約3人に1人」という結果から「子ども達は肥満やむし歯が多い」「血糖値の基準値を超える人が約7割」ということで、大人の糖尿病が問題となってきたという現状を受けて、今年度イベントで実施するアンケートは、生活習慣についてや食事、歯についてのものを記入いただき、健口文化月間を用意いただいた歯ブラシをプレゼントさせていただきます。地域での啓発活動を行いました。イベント会場に合わせて内容を変え、ワークシヨップなどでは、親子で取り組みジュース内の糖質量を計量したり、どうしてむし歯と関係があるのか？を学んだりすることができ、参加の方からは「だからジュースは飲まないよ。」「参加のお父さんからは、RDテストの結果が悪かったので気をつける。」などその後の生活にも変化がみられたという話を聞きました。今後ますます地域に根差してブロック会員と協力して活動していきたいと考えています。

(柏崎ブロック長 船岡 陽子)



会員の広場

県内の在宅歯科医療連携室で活躍している会員をリレーで紹介いたします。今回は、新潟市在宅歯科医療連携室をご紹介します。

在宅歯科医療連携室とは

新潟県は新潟県歯科医師会の協力を得て、地域医療介護総合確保基金事業により在宅歯科医療連携室を県内16の郡市歯科医師会に設置しました。

在宅歯科医療連携室は、介護が必要で歯科医院への通院が困難な高齢者の方などを対象とした在宅歯科医療の申し込みや歯や歯ぐきの痛み、入れ歯がこわれた、合わない等、歯やお口のことで困っている方の相談に応じる地域の窓口であり、県民と歯科診療所を繋ぐ大切な役割を果たします。また、県内16郡市歯科医師会に設置された在宅歯科医療連携室は新潟県歯科衛生士会が人材の配置に協力し、多くの会員が在宅歯科医療連携室の様々な事業に従事しています。

「新潟市在宅歯科医療連携室」

中野 康子

平成30年3月より新潟市在宅歯科医療連携室の専従職員として勤務しております。

私が普段行っている主な業務内容としては
 ・訪問歯科診療の問い合わせ
 申し込み対応
 ・施設訪問による訪問歯科診療
 周知活動
 ・登録衛生士派遣業務
 があげられます。

今年度は特に周知活動に力を入れてきました。新潟市歯科医師会が新潟県後期高齢者医療広域連合の委託を受けて行っている事業に「後期高齢者の無料歯科健診」があります。
 ・後期高齢者医療被保険者の方
 ・要介護3、4、5と認定され

必ず行い、希望があれば健診を受診してもらいます。その際は主訴・希望歯科医院・通院できない理由・主な病名・訪問先・訪問可能な日時等を確認していただき先生に伝えます。

ケアマネジャーからは「迅速な対応ありがとうございます」「どこに相談していいかわからず困っていたので助かりました」「ケアプランに口腔ケアを取り入れさせてもらいました」「患者様からは「義歯が合わずに困っていたけれどすぐに義歯を作成してもらいとても助かりました。食事が美味しく摂れるようになり喜んでいきます」など感謝のお言葉を頂くこともあります。そのようなときは連携室に従事して良かったと感じます。

ている方

・一人で通院できない、新潟市内に住所がある在宅の方
 が対象となりますが有料老人ホーム等にお住まいの方でも対象となる場合がありますため対象施設を訪問して無料健診のご案内とご説明を行ってました。

医科に比べ歯科に対する意識はまだまだ低いと感じながらも要介護者のお口の問題の早期発見に繋がり、誤嚥性肺炎の予防、適切な義歯の使用により食生活になるように健診の重要性をお伝えしています。

日々の訪問診療のお問い合わせはケアマネジャーやご家族からがほとんどです。
 問い合わせがあった場合も無料健診対象者かどうかの確認を

登録衛生士派遣業務につきましては、訪問診療補助・口腔ケアの見学を行っておりますのでご興味のある方は連携室までお問い合わせ下さい。

会員の動き

会員数 586名

(平成30年12月16日現在)

- 1 上越ブロック 55人
- 2 柏崎ブロック 24人
- 3 長岡ブロック 65人
- 4 県央ブロック 52人
- 5 魚沼ブロック 28人
- 6 下越ブロック 50人
- 7 新潟ブロック 289人
- 8 佐渡ブロック 20人
- 9 県外ブロック 3人

IoT/AI

いつも、お客様と、ともに 愛をこめて

人、モノ、コトをつなぎ、新たな可能性を求めて。
 私たちは、お客様とともに歩むパートナーとして、つねに最適なメディア、サービスを提供いたします。

dip 株式会社 第一印刷 本社 / 新潟市中央区合町2丁目4番18号 TEL (025) 285-7161代(営業本部)
 東京本部 / 東京都台東区根岸2丁目14番18号 TEL (03) 3871-4261代
 本社工場 / 新潟市江南区曙町4丁目6番18号 TEL (025) 382-7400代
 支店 / 中越支店・上越支店・情報工房DOC県央・情報工房DOC佐渡
 営業所 / クリエイティブインフォメーションセンター・情報工房DOC朱鷺メッセ店・万代メディアショップ

HP <http://www.dip.co.jp/>
 E-mail info@dip.co.jp

SUNSTAR

増えつづける 大人のう蝕を防ぐ!

サンスター史上最大濃度フッ素 **1450ppm** 配合

う蝕徹底予防 (二次う蝕) (根面う蝕)
 歯周病予防 (歯肉炎・歯周炎)
 口臭予防

BUTLER バトラー デンタルケアペースト

医薬部外品 歯用ハミガキ
 販売名：バトラー薬用ハミガキD
 [内容量] 70g [香味] ハーブミントタイプ [患者様希望価格] 1本500円(税抜価格)
 *6歳未満のお子様へのご使用はお控えください。
 サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号 TEL/072-682-4733 FAX/072-684-5669 ©登録商標。BUTLERは登録商標です。

舌苔や義歯のケアにも ドライマウス対策 がん患者さんの口腔管理

お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

唾液のチカラに着目して開発された低刺激性のオーラルケア製品です。

Pepti-Sal

2種類のペプチド配合
 ラクトフェリン配合
 キシリトール配合
 保湿成分配合
 pH 中性域

発泡洗浄剤無配合
 アルコール無配合
 パラベン無配合

*1 ナイシン・ポリリジン(清掃補助剤) *2(清掃補助剤) *3(甘味剤)

T&K ティアンドケー株式会社 ☎ 0120-555-350
 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232

デンタルハイジーン 別冊

プロケアの本

新田 浩・茂木美保・小林宏明 編著

患者さん個々のキーリスクに合わせて適切なプロケアを行うために!

プロケアの知識・技術の向上に役立つビジュアルな実践書!!

■ AB判 / 128頁 / カラー
 ■ 定価 (本体3,300円+税)

医歯薬出版株式会社 <https://www.ishiyaku.co.jp/>

大好評の Welcome to Dental Office シリーズ

イラストで楽しく学ぶ デンタルオフィス入門 第2版

新人さんのためのText Book

高橋英登 監修
 対馬ゆか・遠山佳之 著

イラストでどんどんわかる、歯科医院の仕事のすべて

初めて歯科医院で働く方に必ず読んでほしい一冊。待望の改訂第2版!

■ B5判 / 132頁 / 2色
 ■ 定価 (本体3,200円+税)

う蝕予防フッ化物洗回剤 ミラージュ® 顆粒 11%

医療用医薬品 劇薬 薬価基準対象外

(フッ化ナトリウム洗回剤)

1g分包
 1.8g分包
 500g瓶
 500gパラ包装
 7.2g分包
 7.2g x 200包
 調剤専用
 集団用

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む
 使用上の注意等については添付文書を参照してください

発売元 **(株)ビーブランド・メディコーデンタル** 2018年2月作成
 資料請求先 大阪市東淀川区西淡路5-20-19 TEL:(06)6370-4182